

2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	山留めの計画と設計小委員会		主 査 名：桂 豊 就任年月：2008 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 仮設構造運営委員会		委員長名：中島正愛 主 査 名：森脇登美夫
設 置 期 間	2008 年 4 月 ～ 2011 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>2007 年度に終了した山留め設計小委員会での成果と残された課題を踏まえ、根切り山留め工事における安全性と経済性及び環境への適合の総合的観点から、山留めの計画と設計法の現状と課題を見直し、今後の方向性と課題を検討する。</p> <p>①初年度：「山留め設計小委員会」成果公表（パネルディスカッション） 課題の抽出と整理、活動計画作成、文献調査、WG 設置</p> <p>②2 年度：課題の具体的検討</p> <p>③3 年度：検討結果の取り纏めと報告書の作成</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：桂豊（清水建設） 幹事：青木雅路（竹中工務店）、石井雄輔（大林組） 委員：石井善一（大成建設）、伊勢本昇昭（戸田建設）、内山晴夫（久米設計）、大西靖和（エルメス計測）、佐々木俊平（道路保全技術センター）、佐竹啓一（ジェコス）、佐藤英二（竹中工務店）、清水孝昭（竹中工務店）、實松俊明（鹿島建設）、田村修次（京大）、野田和政（前田建設工業）、平出務（建築研究所）		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>①山留め計画WG：計画立案上の多様化した課題の系統立てた整理と今後の対応法検討</p> <p>②山留め設計WG：山留め解析上の課題深掘りと梁バネモデル・FEM における対応策検討</p> <p>③近接施工WG：山留め工事が周辺に及ぼす影響と技術的課題検討</p> <p>④近接山留めの手引き検討WG：現状把握・手引きの方向性・骨子案と課題検討</p>		
2010 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	小委員会 6 回 WG 活動が主（4 つの WG 平均 6 回開催）
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 山留め工事のCO ₂ 排出量、既存地下躯体利用、逆打ち躯体効果等の検討 (100%) 2. FEM 解析の山留め設計への適用性検討、自立山留めの課題検討 (100%) 3. 近接施工の紛争例と注意事項検討。地下水位、地盤変状の公的データ整理 (100%) 4. 近接山留めの手引きの骨子案検討。学会出版物にするための課題抽出 (100%)
委員会活動の問題点・課題	1. なし